

# 看護師職能Ⅱ委員会

委員長 大林 由美

## I 活動方針、活動目標

### 1. 活動方針

- 1) 看護師職能Ⅱの課題を整理・発見する
- 2) 協会の活動方針や重点事業を会員に周知し、現場の意見を集約する

### 2. 活動目標

- 1) 日本看護協会看護師職能Ⅱ委員会との連携による課題の検討と活動の推進
- 2) 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
  - (1) 在宅・施設等の長期療養者を支える看護の機能強化
  - (2) 病院・在宅・地域等の看看連携や多職種連携の強化

## II 活動内容

### 1. 委員会開催状況 8回

開催日	内 容
4月18日	・ 3職能合同研修会開催予定地で行い、下見する ・ 看護師職能Ⅱの対象看護職への研修案内方法についての検討
7月6日	・ 新委員紹介 ・ 令和元年度活動計画の確認 ・ 副委員長決定、書記の確認 ・ 8/3 3職能合同研修会についての検討
8月3日	・ 3職能合同研修会の振り返り ・ 8/31看護師職能Ⅱ集会についての確認と役割分担 ・ 令和元年度研修計画準備についての確認 ・ 委員の連絡票の確認
8月31日	・ 全国看護師職能委員長会議報告 ・ 10/26看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修についての検討 ・ 11/30看取り研修についての打ち合わせ ・ 看護師職能Ⅱ集会の振り返り
10月31日	・ 地区別職能委員長会議報告 ・ 10/26看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修の振り返り ・ 11/30看取り研修の打合せと役割分担
11月30日	・ 看取り研修振り返り
12月19日	・ 理事会の次年度研修計画案と職能委員会のあり方について報告 ・ 令和2年度の看護師職能Ⅱ委員会の活動について検討
1月17日	・ 令和2年度の看護師職能Ⅱ委員会の活動について検討 ・ 看護師職能Ⅰと一部合同で次年度の研修について検討

### 2. 活動の概要

#### 1) 研修会の開催

##### (1) 3職能合同研修会

開催日：令和元年8月3日（土） 会場：大田あすてらす 受講者：70名

テーマ：「地域包括ケアシステムの中での看護の役割り」

講 師：島根県高齢者福祉課 地域包括ケア推進室 桐田 和幸氏

島根県立中央病院 入退院支援地域医療連携センター看護師長 岩佐 佳栄 氏  
大田市立病院 訪問看護ステーション所長 松原 愛美 氏  
山本助産院（益田市） 山本喜久子 氏  
江津市健康医療対策課包括支援係 係長 小田みゆき 氏

内 容：島根県高齢者福祉課の桐田氏より「地域包括ケアの島根県の現状と課題 ～看護職に期待すること～」の講演。その後4職能より10分ずつそれぞれの立場で取り組んでいる地域包括ケアの実践を報告する。その後、感想交流を行い、これからの看護職の役割りについて考えた。

#### (2) 看護師職能Ⅱ職能集会

開催日：令和元年8月31日（土） 会場：看護研修センター 受講者：19名  
テーマ：「暮らしの場で働く看護職」が考えるべきリスクについて学び、意見集約・情報交流・課題発見につなげる。施設を超えた意見交換・交流の場とする。

講 師：松江市立病院 老人看護専門看護師 吉岡佐知子 氏  
村松事務所 特定社会保険労務士 村松 文治 氏

内 容：吉岡氏より、「介護施設等における援助者がおさえておくべき倫理的問題とその対応」について講義を受ける。村松氏からは、4月より施行された「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」に触れながら、健康な労働環境づくりについての演習も含めた講義があった。その後自施設での取り組みや課題についても交流した。

#### (3) 看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員会合同研修会

開催日：令和元年10月26日（土） 会場：朱鷺会館 受講者：71名  
テーマ：「最後まで食べる幸せを支える」

講 師：J A 神奈川伊勢原協同病院  
NPO法人「口から食べる幸せを守る会」理事長 小山 珠美 氏

#### (4) 看護職能Ⅱ研修会「看取り研修プログラム」

開催日：令和元年11月30日（土） 会場：看護研修センター 受講者：48名

講 師：松江市立病院 老人看護専門看護師 吉岡佐知子 氏  
松江記念病院 老人看護専門看護師 空先 育子 氏

内 容：「老衰死」「終末期の状態像の変化」「苦痛緩和と予防的な対応」「全人的苦痛」「倫理的課題」「本人・家族の意思確認と説明」の講義と講義中にミニワークがありタイムリーに学習を深められた。

### Ⅲ その他

1. 令和元年度全国職能委員長会に1回参加（8/21）
2. 令和元年度地区別職能委員長会に参加（10/16）

### Ⅳ まとめ

今年度の研修では、介護施設や訪問看護ステーションなど幅広い事業所からの参加があった。また、非会員の方の参加も多く、県を通じて案内が届いたことも良かったと思われる。しかし職能集会は参加者が少なく、さまざまな職場で働く看護職能Ⅱをどのようにして結集するか次年度への課題となった。暮らしの場で働く看護職との「つながり」をさらに深めて活動をしていきたい。